

# 幼児の心情陶冶についての経験

—— 第五回全國幼稚園關係者大會に於ける研究發表 ——

大阪市立大寶幼稚園 笠井しげの

## 一、始めに

幼児教育者となつて數年、幼稚園が幼児の心身の健全な發達をさげしめるところであり、善良な性情即ち本質的な人間の心の素を作るところで云ふ事が、言葉の上でなくほんとうに判り出した事は同時に又私達の教育の對照が單に幼稚園の子供でなく、社會人、世界人としての子供だと云ふ事もはつきり判つたのであります。その時代から私は廣い世間をしみじみ見なければならぬ必要を痛切に感じて參りました。

## 二、幼児の心情陶冶に専念になり出した動機

さうして私の見た世間！ それは如何にも悲しい（表面は左様でなくも皮めぐれば）姿のものでありました。自分の私慾を満すためには父母を殺す世間であり、同胞相食む世間であり、高恩の師をさへ許る世間でありました。最高學府を出た身であり乍ら一丁字をも解せぬ匹夫と同じ行爲をあえてする人の多い世間でありました。そこで私は智識の塔を築く前に立派な人格の礎を作つておかねばならぬ。それにはやさしい心、美しい心、與

へる事の豊かな心の子供を作る事だと思ひました。作られた圓滿な人格の素地の上に智識の芽が育つてこそ始めてほんどうの人間が作られるのだ。それをする事が幼稚園教育者の大きい仕事だと思つたのであります。

檜崎博士には個性完成の三時期として、基礎教育時代（一歳……十歳まで）素地教育時代（十一歳……十八歳まで）本質教育時代（十八歳以後）と分類せられ特に幼稚園は基礎の基礎教育時代即ち根源の教育時代だと仰言いました。

又獨逸の文化と佛蘭西の文化を比較して  
獨逸は 理性の文明であり

佛國は 情趣の文明だと仰言いました。

世界一流といふ學者は獨逸よりも佛蘭西に多いし自分達も佛蘭西の文化は汲めどもぐつきぬ感じがするのに獨逸の文化はすぐに行きつまる感がす

る様に思ふと仰言いました。その原因は獨逸文明の基調は理性であり佛蘭西文明はその下層を流れてゐる情に源を發してゐるからであると言はれました。人間教育の大きな原因がこのお話の中にくまれてゐる様に思ひました。

子供の心情の教育について考へ様とする心はここでいよ／＼深まつたわけであります。

### 三、如何なる方法で幼児の心情を陶冶するか

幼児の心情はいろ／＼の方面からいろ／＼の方によつて陶冶されると存じます。秋晴れの一日高い山の上に又は廣い／＼原つばの真中にごろりとねころばせて美しいすみきつた空を、雲の色をながめさせる事も、雄大な海邊に立つて唯靜かに波の音をきかせる事も更に早春霜枯れの草の下から萌え出ようとする若草の雄々しさを見つめしめ

る事も立派な心情陶冶の方法だと存じます。幼稚園の生活に於て小さい苗床に草花の種子を蒔かせそれが芽生え、伸び花開き、實るところまでいはり育てさせる事も大きな心情陶冶の方法だと存じます。それを考へて行きます時あまりに問題がひろがりすぎる様に存じますので今こゝで私の述べ様といたしますのは人と人とのふれあひに於て如何にその心情を陶冶しようかと云ふ事のみについてであります。

先づ幼稚園に於ける子供の生活を考へて見ます。

### 純自然生活

### 被設定生活

の二つに大別出来様と存じます。

純自然生活とは全然保母のプランによらない子供の生活であり、被設定生活はいささかでも保母の立案下に行はれる子供の生活であります。

### 先づ

1、純自然生活中では如何に考慮してゐるか

「相互生活を圓滿ならしめ受ける事與へる事の

よろこびを十分に味はしめる様にしてゐる」

と申しただけではあまりに抽象的でありますから日常生活茶飯事の中から私達の心づかひの一二をひろひ出して見る事にいたします。

### I

私の幼稚園の子供にはどうしても守らねばならぬ事として紙とハンカチーフを忘れぬ事を申渡してあります。でも子供のうっかりさからお母様の不注意から子供は時折忘れて参ります。それでも鼻汁を拭きたい時、手を拭かねばならぬ時はございます。その時子供達は如何にもすまなさそうに（いじけてゐると誤解しないで下さいませ。子供はやつぱり守るべき事を守らなかつた辛さはしつてゐると見えます）「先生紙ないの」と申し出ます。

その時私達はなるべく自分の紙を與へない様に心がけて居ります。「そう、それはなんぎです、誰かにお願ひしてあげませう」と近くに居る子供達に、「一寸この人に紙あげてね」と申します。「うん」といつてその子は自分の紙の幾枚かを友達にくれます。もらつた子供がそれで美しく鼻汁を拭つた時、「まあきれいになりましたね、この方にお禮いつとぎませう」と云へば「おーきに」と云ふ。云はれた子供は恥しさうにニツと笑つて走つて行きまゝです。二人の子供の心はその刹那にびつたりと結びつかつた様に思はれます。

## II

子供は決して薄情ではないのでせうけれども大人が友達を奪はれた程に仲よしの子供を失つた時のさびしさを現しません。その時その世界に於ける遊び相手を見つけての生活を始めます。従つて

自分のクラスの子供がどんなに永くやすんでも平氣である事が多いのであります。そこで私は子供達をお部屋にいれました時、「あなたのお隣りは？」とぎゝます。「誰さんです」。それからその子についての話に花が咲きます。結局病氣でさびしいお家にゐるのだと云ふ事がわかると、「お氣の毒ですね、皆は先生やお友達とこんな面白く遊べるのに毎日おねんねしてゐてどんなにか淋しいでせう」とねてゐる辛さをしみぐ味はせてお見舞を贈る事を決議します。

保育修了前で文字のかける子供の多い頃なら各自にお手紙をかゝせる事もあり各自の畫をこぢて贈る事もあります。粘土製作で美しい果物のいろいろを作つて送つた事もあります。それを作り又は描いてゐる時の子供の姿、そしてそれをうけた時の子供の喜び、その子供が久しいお休みの後出席した日待つてゐた子供達は「君もういゝの」と肩

に手をかけます。「うん」と大きくうなづいて嬉しさうにお庭に出て行く姿。人を思ふ、思つてもらふ、その二つのよろこびはこゝに完全に一如の美の姿となつて現れます。次に

## 2、園外保育の時の試みの一つ

私の幼稚園では月一回の園外保育をいたします勿論附添ひはついて参りますけれども私はあるく道々を子供相互でたよりのたよられる、よろこびを知らせたいためになるべく附添ひからはなして居ります。

先づ年長児を一行に年少児を一行に、組みあはされた大きい子と小さい子はいとも仲よくどんな道でもよろこんであるいて行きます、自分一人でも一寸苦しい坂道を手をひかねばならぬために元氣づけられて上つて行く子供「ア、楓の木よ」と兄様に説明せられて「さう」とうなづく小さい子供、組をはなれた幼稚園全體がたつた一つのはらから

の流れを流れてゐる様に思ひます。

## 3、食事についての試み

幼稚園の一日中で子供の一番たのしい時それはおひるのお辨當の時です。自主獨立、それは子供を躱ける大きな目やすではありますけれども、私はこのお食事を利用して人のためになす喜びを子供に感じさせ様として居ります。小西博士がその著勞作教育の中で「愛の言葉をきかせたり、暗誦せしめたりしても愛の教育にはならない愛は實際に自發的に愛する働きによつてのみ達せられるのである」と仰言つて居ます。先づ一組の當番をきめてあります、その子供達は定めのエプロンを着て机の上を拭ふてお膳をならべお茶瓶を定め場所配つて支度の出來た事を申して参ります。用意された美しい部屋で食事が始ります。やがて皆食事が終つて各自が食後のしづかな遊びをしてゐる間に四人の子供は又汚れたお膳を美しく拭

いて片付け茶瓶の始末をします。やがて食後の含

嗽に行かうとする時全體の子供は當番に「ありがたう」と申します、唯それだけ家庭でも何かしら手傳ひたい様に見える子供、そののぞみの果された子供の喜び、働きたい満足と人のためにするよろこびの二つを子供は味はつてゐる様に思ひます。

#### 4、共同製作について

始めに述べました様な考へから私は子供達にならるべく大きなものを作らせて細い神經をつかはせたく(無理)ないと願ふ心から共同製作をよくやらせてゐますが子供のやさしい心持よろこびあふ心持を作る上にもそれが又大きな役目をしてゐる事を信じて居ります、小さい手、小さい體ではとても扱へぬ粘土の大きい塊を五六人の子供がわけ合つて共同して作つたのが長さ二尺五寸にあまる大軍艦、作つた子供が見合した嬉しさうな顔「一緒にしてよかつたね」「君よくしてくれたね」と感謝し

あつてゐる様に見えます。

\* \* \*

以上順序もなく述べて参りました。今度は設定生活の手段方法にはいつて行きたいと思ひます。

幼稚園令では遊戯、唱歌、談話、手技、觀察、其他とせられて居ります、勿論そのいづれでも子供達の心情は陶冶されて行きますけれども最も大きな使命をもつものは唱歌であり、遊戯であり、談話であらうと思ひますが遊戯は大阪市で、唱歌は東區保育會でそれ／＼御研究中と承りましたので私は談話についてのみ考へて見ました。

#### 四、心情陶冶に資する談話

##### 要目

##### (A) 談話について

幼児、歌ふ事をよろこび踊る事をよろこぶと同時様に否それ以上の喜びをもつて迎へるものはお

話であります、倉橋先生のお言葉をかれば

1、表現(再現)の快感を味ひ得られるが故に

2、心的活動の快感を味ひ得られるが故に

子供達はお話をよろこびます。そしてそのよろこびのお話をきくうちに子供達は人生の美しい尊いものの中になつてよひ自然に美を好み醜をきらひ正をよろこび邪をにくむ様になつてまゐります、更に子供達の心は保母の心持を通じての話によつて次第に高められ引き上げられても参ります。そこでなるべく子供の喜ぶ様な話を澤山にあつめてい

つどんな時でもききたい欲望を充してやれる様に  
と存じつゝ談話の要目を作つて見ました。お話の中にはそれを通じて自然を理解せしめてこれに親しみをたせてそれに感謝の念を持たせる：等、いろいろの意味に於てのよいお話が澤山にあります。しかし私は前申しました理由に依り主として人ご人、ものごもの、の觸れあひに於てあなたか親子の感じられるもののみをとつて見たのであります。故に一般的條件から見ると完全な談話要目でない事は御承知いただきたいと存じます。

年	少	組	出	所
月	四			
驛方に関する事項の繪伽 オハヨウ、サヨナラ、イツ テマキリマス、タワイマの 挨拶 鼻紙の始末 靴、靴袋、帽子の始末 玩具の片付 椅子の取扱ひなど				
桃太郎 蝶子さん			童話寶玉集 子供の喜ぶ話	
年	長	組	出	所
			百合子さんの夢 ちからん坊 指太郎 太郎の夢	
			幼児にきかせる話 子供の好きな話 幼児にきかせる話 幼き人への話	

月 十	月 九	月 七	月 六	月 五
<p>健ちやんと兎 鳴かの鈴蟲 一寸法師 お地藏様</p>	<p>西瓜の小猿 お月様の籠 春雄さんの飛行機</p>	<p>瘤取り 春吉さんと蝮 雷の子</p>	<p>コロン爺さん 権藏さん平藏さん 傘屋のむちさん 太郎さんのお食事</p>	<p>金太郎 お柏ねすみ 雀と鯉幟 ビヨン太郎</p>
<p>子供の喜ぶ話 幼き人への話 日本お伽噺集 幼児にきかせる話</p>	<p>幼き人への話 幼児にきかせる話 子供の好きな話</p>	<p>日本お伽噺集 子供の喜ぶ話 幼き人への話</p>	<p>同 子供の好きな話 同</p>	<p>日本お伽噺集 子供の好きな話 幼児にきかせる話 子供の好きな話</p>
<p>月宮殿 不思議な靴 牛と猿と鳩 お猿のしくじり 柿大將</p>	<p>小さい白兎 金の鈴 お芋ころく 羊と狼</p>	<p>七夕様 赤ちやん羊 蜻蛉の御殿 西瓜とれすみ</p>	<p>牛若丸 狸々の旅行 浦島太郎 日本一の飛行機 マメ人形</p>	<p>鬼の御殿 勇さんの三輪車 勇さんの旅 ビヨン太郎 五色の太鼓</p>
<p>同 子供の好きな話 幼児の楽しむ話 お伽百話</p>	<p>子供の喜ぶ話 子供の喜ぶ話 お話の實際 幼児にきかせる話</p>	<p>子供の喜ぶ話 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話</p>	<p>子供の好きな話 幼児にきかせる話 日本お伽噺集 幼時にきかせる話 子供の喜ぶ話</p>	<p>幼時にきかせる話 幼き人への話 同 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話</p>



月 三	月 二	月 一	月 二十	月 一十
<p>慾げり猫 お菓子の世界 春子さんの眠り人形 好子ちゃんと蝶</p>	<p>節分の話 神武天皇 兎の片耳 珊瑚の首環</p>	<p>飴 風 五色の帽 毬とうちわ</p>	<p>天狗喰ひ かくれ毬 七つの小山羊 餅搗奴</p>	<p>像と鯨の綱引き お菓子の御殿 大きな球の話 猿と玉れぎ</p>
<p>同 幼児の楽しむ話 子供の喜ぶ話</p>	<p>同 幼児にきかせる話 幼児の楽しむ話</p>	<p>同 子供の好きな話 幼児の楽しむ話</p>	<p>同 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 グリムお伽噺 お伽百話</p>	<p>同 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話</p>
<p>富子さんの風船 元氣な和平君 黄金の鷺鳥 光りの島</p>	<p>節分の話 神武天皇 文福茶釜 動物の願い 三吉さん</p>	<p>子兎とライオン 三匹の小豚 力の鍵 太郎丸の鬼退治</p>	<p>石の齧 一雄さんの夢 マルのお手柄 赤んぼ爺さん 頭上の林檎</p>	<p>トロヤの木馬 三羽の小鳥 正夫さんの大将 寶の卵 三匹の小犬の話</p>
<p>同 幼時にきかせる話 子供の喜ぶ話 グリムお伽噺 鳩のお家</p>	<p>同 幼児にきかせる話 幼児の楽しむ話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話</p>	<p>同 子供の喜ぶ話 幼児にきかせる話 談話材料 幼児の楽しむ話</p>	<p>同 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話 お話の實際</p>	<p>同 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話 幼児の楽しむ話</p>



昭和三年四月に定められた大阪市立幼稚園規則に依れば談話の毎週の保育時數が

三歳乃至四歳 週一時間

四歳乃至五歳 同二時間

と定められて居ります。しかし幼稚園の子供への話は短かければ五六分長くとも十五分以内のものが多いのであります。それを週一時間乃至二時間に該當するだけすると致しますと随分澤山の材料が必要でもありますし（反復の餘裕を見ても）かくする事は子供の實生活から見てあまりに無理がある様に思ひますので私はこれを時間を現すものではなく回数であらはすものと解釋し、その解釋のものと分量を定めたのであります。但し週一回乃至二回の話を必ずするとすれば五つ乃至八つ位の材料が必要なわけであるがお話の生命お話をきく者それ自體の興味から考へて徒に新しい話材を興へられるよりは同じものを三度五度反復すること

ろに却つて津々たる興味が存する様に思ふのでその餘地を興へるため材料をうんと精選割愛したのであります。

2、取材範圍は

大阪市幼稚園共同研究會竝に大阪市保育會から、三冊子供達へのお話の本が出て居ります。童話のもつ生命を、そしてお話に對しても子供達の興味を中心點を十分につかんで居られる保育實際家の手になつたものとして先づこれを中心に取材しこれに加ふるに大日本幼稚園協會の編纂にかゝる二著竝に童話専門家文學者などの著書の多くを參考としてその中から遊び出したのであります。

3、材料の排列は

すべての要目が左様である如く季節年中行事竝に幼児の心意の發達の程度を考慮して排列いたしました。

(C) 要目取扱上の注意

1、年少組、年長組共に自分の考へに基づく材料の與へ方によれば尙分量の多い感はするがそれは實際保育にあたり材料選擇の餘地をあたへたものである。

2、雨の日のつれづれに園外保育時の休息の折に豫定の保育材料を用ひて不足を來した時のためにもと補充材料を各組共に用意したわけである。

3、この要目にて年少兒と云ふは四歲兒、年長兒といふは二年保育の五歲兒を意味するもので一年保育兒は最初は年少兒の案により順次年長兒の案に近づくものとす。

#### (D) お話の参考圖書

1、この要目作成にあたつて一通り讀み終つた童話書名を何かの御参考にもと左記いたします。

2、圖書名の上に○印をつけたものは、幼兒にきかせる材料の豊富なものであります。

3、島崎藤村氏の童話集は最も新しき深く自然

に呼びかけられたもので自然も亦人によく呼びかけて居ります。年長組の終り頃さむい日のつれづれにストーブのそばでもよんでやればしみづとぎけてよい話だと思ひました。

4、二十八、二十九兩方とも平易でかつ美しい文を假名でかゝれたお話の本です。特に二十九の方には子供らしい、さし繪が澤山にあります。島崎氏のとほちがつた意味で靜かにきかせてやりた

いお話の本です。

5、その外のもは多くは天下の名著と云ふものでは有りますが幼兒にきかせるには

消化しがたい事實の記述であつたり

讀むによく話すには單調でありすぎたり

教訓が多すぎたり

感傷的な材料でありすぎたり

幼兒のもつ注意力のつかぬ長さでありすぎたり

り

事件の内容が複雑すぎたりするので

不適當と認めその中から採擇しなかつたのであります。

### 参考圖書名

- 1、子供の好きな話 大阪市幼稚園共同研究会  
○2、幼き人への話 同  
○3、子供の喜ぶ話 大阪市保育會  
○4、幼児にきかせる話 大日本幼稚園協會  
○5、幼児の楽しむ話 同  
○6、お伽百話 巖谷小波  
○7、幼稚園はなし 長尾豐  
○8、幼稚園はなし第二集 同  
○9、祝祭日のお話集 同  
○10、童話寶玉集上下 楠山正雄  
○11、雀のお宿 巖谷小波其他  
○12、鳩のお家 大井信勝  
○13、日本童話集上 島崎藤村  
○14、同 中 小川未明  
○15、日本昔話集上 柳田園男  
○16、日本昔話集下 田中梅吉其他  
○17、世界童話集 楠山正雄
- 18、朝鮮童話集 中村亮正  
19、印度童話集 岩井信實  
20、お話の研究 水田光  
21、お話の實際 同  
○22、グリームお伽噺集 中島孤島譯  
23、イソップお伽噺 楠山正雄  
24、アラビアンナイト 同  
25、ガリヴァー旅行記 同  
26、トルストイ童話集 同  
27、春を告げる鳥 宇野浩二  
○28、學校家庭童話一學年 芦谷芦村  
○29、お話讀本(尋一) 小谷真徳  
○30、尋一のお話全集 長尾豐  
31、臺灣童話五十篇 遊澤青花  
32、白い小兎 小野政方  
33、をさなものがたり 島崎藤村  
34、世界童話大系 童話作家協會  
35、日本童話選集 尾關岩二  
36、美しいお話 濱田廣介其他  
37、一年生の童話 久留島武彦  
38、お伽小槌 大塚講話會  
○39、實演お話集  
40、子供繪本文庫